

つななまち

2015年4月20日発行

No.197 Tsunan-Town

発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 河田 強一
町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。

町長施政方針	②
平成27年度予算(一般会計・特別会計)重点施策の項目	③
補正予算・発議案・請願の討論	④
条例改正・人事	⑤
一般会計討論	⑥
特別会計討論	⑦
総括質疑	⑧~⑨
一般質問(町政を問う)	⑩~⑮
総文委員会レポート	⑯
産建委員会レポート	⑰
町民登場・編集後記	⑱

水中運動下
不老長寿



「アクアリズム」水中運動



「寝たきり0(ゼロ)」運動

平成27年第1回町議会定例会が3月3日から20日まで開催されました。初日と2日目は町長施政方針の表明がされ、11人が一般質問に立ち、農政、介護、地方創生の取り組みなど活発な議論が交わされました。会期中で合同常任委員会が開かれ、27年度予算案について審査を行いました。

町長施政方針と平成27年度予算編成について総括質疑を12人が行い、最終日は平成27年度予算案に対する各討論を8人が行い、条例改正、平成27年度予算を可決。請願1件採択、議員発議による意見書3件を可決し、閉会しました。



降る雪をイメージした上郷中学校体育館の窓「クローブ座」に変身

町長施政方針

本日ここに平成27年津南町議会第1回定例会を開催し、新年度予算及び議案を提案するにあたり、所信の一端を申し上げます。

津南町が誕生して、今年60周年を迎える節目の年であり、記念行事を町民の参加をお願いして計画いたしますが、津南町の新たなスタートにいたしたいと考えております。

当町の一般会計総額は、労働費の減はあるものの、農林水産業費・衛生費・土木費・民生費・総務費の増により、対前年比6・45%増の67億9,600万円となりました。

一般会計、特別会計を合わせた予算総額は、対前年比5・22%増の126億5,227万円となりました。

事業の主なものを申し上げます。

子育て支援・少子化対策の関係では、妊産婦医療費の助成、特定不妊治療費の助成、高校卒業の年齢までの子どもの医療費助成等も引き続き実施し、子育て環境の充実に努めてまいります。

国民健康保険料については、高齢化や医療の高度化により一人当たりの医療費は大きく伸び続けており、一般会計からの繰入れなどの財源措置を講じながら、消費税増税、米価下落等町民の皆様の生活への影響を考慮し、今年度は据え置きとする決断をいたしました。

津南町認証米の支援措置では、さらに1年間延長し、その位置づけを確固たるものにするともに、特別支援を

実施し稲作の組織化を強力に進め生産費の引き下げを図ってまいります。

鳥獣害の被害防止対策では、電気柵、罟を含めた自家菜園へのサル被害対策を検討してまいります。

再生可能エネルギー関係では、昨年度から取り組んでいる源内山・中深見調整池内の雑水山導水路の小水力発電施設が本年秋ごろ完成する見込みであり、売電益の一部は土地改良施設の維持管理費の軽減に充てたいと考えております。

観光関係では、津南町最大の観光資源である秋山郷は、その拠点整備を図るために一昨年の観光基盤整備と昨年の見玉地区の駐車場整備を進めてきましたが、本年も見玉地区での直売所と公衆トイレを兼ねた施設整備を計画し、特産品や野菜の直売とトイレ渋滞の解消を図ってまいります。本年度開催する大地の芸術祭については、7月26日から9月13日までの50日間開催する予定であり、津南町では辰ノ口のトヤ沢の砂防ダムが「土石流の記念碑」として新たに作品展開されるとともにパフォーマーのレジデンススペース兼劇場として旧上郷中学校が使用されます。期間中の交通確保策として、松代、

津南間を約1時間に1本の割合で循環バスを運行し、大割野から上郷方面と秋山郷方面に午前と午後各1本運行することを予定しております。

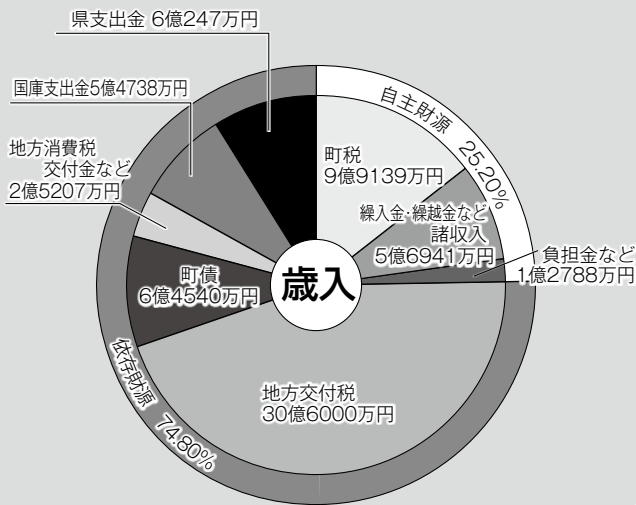
国道405号の「旭町通り」歩道整備では、実施に向けた家屋調査・補償が進められており、また池田橋から太田新田間の拡幅工事にも着手いたします。県道加用今新田津南停車場線の谷内工区については、拡幅工事が進められる運びとなりました。相吉工区も事業が着手され用地・補償関係が進められているところがあります。

住宅関係では、住宅改修補助事業を継続してまいります。生涯学習については、スポーツ推進員や「Tap」とともに工夫し、健康寿命の延伸に努めてまいります。

以上、平成27年度を迎えるにあたり、私の基本的な考え方や施策の概要を上げました。昨年「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。自治体の能力が問われる時代に入りました。私は、その先頭に立ち、各種施策を進めてまいりますので、町民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

● 平成27年度予算 ●

一般会計 67億9600万円



重点施策の項目

*印は新規事業

民生費

- * 保育事業（ひまわり保育園改修工事） 7,511万円
未満児の入所棟を増築する。

土木費

- 住宅改修事業補助 2,000万円
- 町営住宅建設 2億6,426万円
美雪町営住宅8戸分を建設移転する。
- 町道改良舗装事業 1億5,000万円
道路の改良舗装、水路工事等。

農林水産業費

- * 農地中間管理事業 5,005万円
担い手農業者に農地集積したときに協力金を支払う。
- * 多面的機能支払交付金 1億5,520万円
集落の農地維持、資源向上機能に支援する。
- 小水力発電事業 6,750万円
- 認証米制度補助 1,500万円
認証米栽培基準該当米に補助する。

総務費

- * 町有財産購入 1,000万円
旧宝山荘の土地、建物を購入する。
- * 旧上郷中学校利用の大地芸術祭管理委託料 400万円
- 地域おこし協力隊設置事業 1,208万円
住民の生活支援などに従事する。3名分。
- 総合文化拠点創設事業 2,088万円
旧上郷中学校利用の大地芸術祭関連費用

衛生費

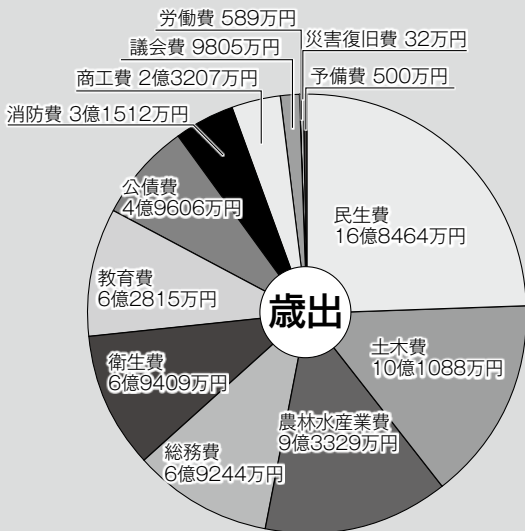
- 子ども医療費助成 2,352万円
通院、入院ともに、18歳年齢到達までとする。

教育費

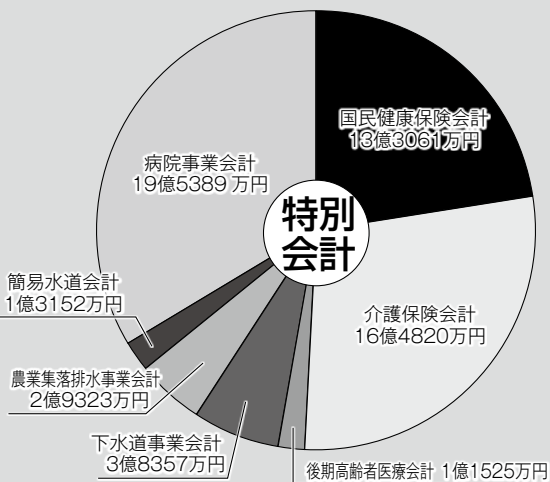
- * 学校施設整備事業 津南小学校増改築工事設計委託料。 2,696万円
- ジオパーク推進事業 1,909万円
- 苗場山麓ジオパーク振興協議会補助 1,124万円

商工費

- * 観光誘客宣伝事業 2,643万円
見玉直売所整備、土地建物購入費。



特別会計 58億5627万円



主な補正予算

一般会計

原案どおり可決しました。
(臨時会含む)

補正額 2億8,580万円

総額 71億6,667万円

主な歳入増

地方交付税 2億5,421万円
 農業振興補助金 4,451万円
 繰越金 1,821万円

主な歳入減

地域介護・福祉施設整備交付金
▲1億4,643万円

主な歳出増

◎総務費

旧上郷中学校改修工事費 850万円

◎農林水産業費

小水力発電設備工事費 6,757万円

主な歳出減

◎民生費

福祉施設(三二特養施設)整備交付金
▲1億4,643万円

「地域活性化・住民生活等緊急支援交付金関連補正予算」
歳入内訳

地域活性化・住民生活等緊急支援交付金
5,934万円

歳出内訳

プレミアム商品券発行事業補助金 1,228万円

多子世帯支援事業 171万円

低所得者灯油購入補助金 431万円

ひまわり広場プレミアム駐車券補助金 834万円

特別会計

◎国民健康保険特別会計

補正額増 50万円

総額 12億3,039万円

(主な内容)
保険者負担増

◎介護保険特別会計

補正額増 40万円

総額 16億7,349万円

(主な内容)
制度改正システム委託料増

発議案

年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の提出について

全員賛成

農協改革に関する意見書の提出について

全員賛成

TPP交渉に関する意見書の提出について

賛成多数
14・1

請願

年金積立金の安全かつ確実な運用に関する意見書の採択を求める請願

賛成討論

風巻光明

年金積立金は現在137兆円あり平成13年から独立法人(GPIF)に寄託され金融市場に投資された。その資産割合は国債が60%を占めていたが、昨年10月に国債を半分にし国内外株式を倍にすることが決定されリスク性の高い運用を開始した。

そこで安全かつ確実な運用を求める請願に次の理由により賛成とする。

①年金積立は年金保険法の規定に基づき専ら被保険者の利益のために、長期的観点から安全かつ確実な運用を堅持すべきものと記載されたおり、株式投資を倍にすることはその法にそぐわない。

②長期的な運用利回りを1.7%の最低限のリスクで資産割合に定めたとしているが、現状で目標値を上回る運用益が確保されており、これ以上リスク性の高い投資は控えるべきである。

③年金積立を株に投資して日本経済を好転させようとの意図も読み取れるが、年金を経済の手法に用いることは控えるべきである。

る。株価は自国で全てをコントロールできるものではなく、米
国や国際情勢に大きく影響を受け
け変動リスクが大きいことが問
題である。

全員賛成で採択

消費税10%の増税をきっぱりと中止することを求める意見書の提出を求める請願

反対討論

風巻光明

消費税増税分は社会保障費にあ
てる訳であるが、社会保障費は25
年前は50兆円で昨年は115兆円
と倍以上になっている。また今後
も1年で1兆円づつ増加すること
が予測される。その財源内訳は国
民から徴収した社会保険料(年金
や健康保険料)は64兆円で給付の
半分以下となっており、その穴埋
めを国と地方税で行っている。そ
のようななかで次の理由により反
対とする。

①少子高齢化により現役世代が急
激に減っていく中で、社会保障
の財源確保のため、所得税や法
人税を引上げると現役世代に増
税が集中し支えきれなくなつて
更に少子化や経済の悪化が懸念
される。従って国民全体で広く負
担する消費税が高齢化社会におけ
る社会保障の財源にふさわしい。

②年金・医療・介護など国民が
直接的に恩恵を受けるものであ
り、社会保障の不足分は国民全

賛成討論

栗原洋子

体で支えあうことが必要。国だけで負担すれば、更に赤字国債の発行など健全な財政運営ができなくなり、そのつげは再び国民に降りかかってくるものが危惧される。

昨年4月に消費税が8%に増税され私達のくらし生活を圧迫し「これ以上上がったらもうムリ、10%なんて絶対ダメ」怒りの声が寄せられている。「消費税増税分はすべて社会保障に充てる」と政府は説明し自民・公明党も選挙でそのように宣伝した。社会保障が良くなればと思つて増税に賛成した人も少なくない。ところが27年度増税分のうち、「社会保障の充実に充てるのはわずか16%」という政府の説明だ。安倍首相は景気が良くも悪くも29年4月に必ず引き上げると言う。ただでさえ国民の所得も消費も落ち込んでいる時に消費税の大増税をかぶせたら個人消費、中小企業に大打撃を与える。社会保障の充実はもう待ったなしだ。能力に応じて負担する税制に大改革を行うこと。町民のくらしと経済を守るため、消費税10%への増税ストップの声を私達議会からも国会に届けようではありませんか。

賛成3 反対12で不採択

条例改正

議案番号	条例内容	賛成	反対
議案第1号	職員給与に関する条例	全員賛成	
議案第2号	行政手続きに関する条例	全員賛成	
議案第3号	介護保険条例	12	2
議案第4号	高齢者生活福祉センター条例	全員賛成	
議案第5号	指定介護予防に関する条例	全員賛成	
議案第6号	地域包括支援センターに関する条例	全員賛成	
議案第7号	道路占有料に関する条例	12	2
議案第8号	町立保育所条例	全員賛成	
議案第9号	農と縄文実習館に関する条例	全員賛成	
議案第10号	教育委員会教育長に関する条例	全員賛成	
議案第11号	特別職の給与に関する条例	全員賛成	
議案第12号	特別職報酬等審議会条例	全員賛成	
議案第13号	非常勤特別職に関する条例	全員賛成	
議案第14号	職務に専任する義務の特例に関する条例	全員賛成	
議案第31号	国民健康保険条例	13	2
議案第32号	指定地域密着型サービスに関する条例	全員賛成	
議案第33号	指定地域密着型介護予防サービスに関する条例	全員賛成	

条例改正ピックアップ

その**1** 議案第3号は平成27年度より納める介護保険料の改正です。

その**2** 議案第9号は農と縄文の実習館（なじよもん）の入館料の改正で、すべて無料になりました。

人事

津南町監査委員の選任について同意



中島 豊氏 (押付)

全員賛成
再任

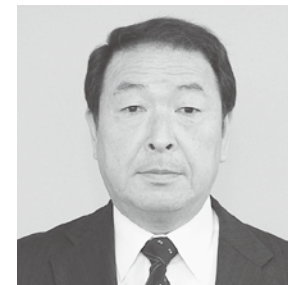
津南町教育委員会教育長任命について同意



桑原 正氏 (船山)

賛成多数
再任

津南町教育委員会委員任命について同意



柳沢 博氏 (正面住宅団地)

賛成多数

職歴

- ・ 中学校教諭
- ・ 中学校教頭
- ・ 中学校長
- ・ H25年4月～H27年3月 十日町市立西小学校長

一般会計予算

反対討論

藤ノ木浩子

安倍政権は、原発再稼働、消費税増税、TPPの推進など国民生活に関わる重要な問題の暴走政治を進めている。

そうした政治のもと住民福祉の増進という自治体本来の役割を発揮し、暮らしを守るのか。防波堤としての役割を果たせるのか強く問われている。

一つは看護師確保の予算が盛り込まれていない。自治体には地域医療を維持、充実させる責任がある。町民の健康と命、津南病院を守るために看護師確保に奔走すべきである。県の医師、看護師確保対策課との連携、看護師確保職員の配置も提案したい。

二つめは、農業問題である。米価下落に苦しむ農家にその下支え策をとるべきだ。安倍政権はTPPを前提に更なる米価下落と家族農業を締め出し大企業もうけの農政改革に踏み出している。「もうこれ以上米価が下がったら米づくりはやれない。」農家の皆さんは同じ思いだ。国に農業つぶし政策はやめるよう声を上げていただきたい。

三つめは、消費税増税は社会保障の充実に結びついているのか。地方消費税交付金の増額分7265万円は、ひとり親家庭の

医療費助成や母子父子手当で給付などこれまでの財源を消費税に置き換えただけである。暮らしを守る予算を望む。

賛成討論

草津 進

強くどこよりもやさしい町づくりを進める2期目の上村町政、ようやく上村カラーが出てきた。「育」をテーマとして進められ、確実にその効果が表れていると確信をしている。津南の天然水が全国展開されているなか、栄村と取り組んだ苗場山麓ジオパークが認定された。関係各位に敬意を表する。取り組みについては、まず将来を担う子ども達が津南町をしっかりと見ていたことであった。「たった一つの宝物、津南はただの田舎じゃないのさ、僕らが津南の未来を創る」はテーマソングの一部である。感動して目頭が熱くなつた。その思いを大切に、各種施策が講じられている。農業を始めとする産業の振興、交流人口の増加、そして所得の向上である。そのためには雇用の場の確保と若者定住促進が大事であり、教員住宅を子育て支援住宅に改築したことは一歩前進したものだ。「上村町政」は町民の意見と声を集約しアイデアの募集が各場面でみられ、町民の一体感が生まれ心が一つになりつつあ

賛成討論

石田タマエ

。地方創生元年「まち、ひと、しごと創生事業」その対応予算も盛り込まれ、人口の増加を踏まえ歯を食いしばってのバランスのとれた一般会計予算に賛成する。

平成27年度一般会計予算に賛成する。予算総額は、対前年比6.45%増であり、その財源確保策として国庫支出金と県支出金の増額である。また、町債も有利債を活用し、全体的に積極的な予算編成であると評価する。特に、子どもたちにとってより良い環境へと、平成27年度に3小学校の統合に伴って、懸案であった津南小学校の増改築に着手することは、教育環境改善へと大きく踏み出す。また、消防団への防寒着の配布はまさに心温まる施策であり高く評価する。観光振興では、見玉地区の直売所整備や観光ガイド養成事業、情報発信アドバイザーの委託などを継続することで、地域内外において体制づくりが確実に進められる。農業振興策では津南町認証米の支援措置を1年間延長して、魚沼米産地の位置を堅守していくための方向づけをしている。また、稲作に頼りがちであった津南農業を畑作振興へと年々舵をきりつつあり各種施策が今後、期待できる。

賛成討論

恩田 稔

アベノミクス効果の実感が乏しい中で、苗場山麓ジオパークや大地の芸術祭を通して津南町を全国へ、また世界へと発信し、更に強い町づくりを目指した予算編成であると高く評価でき、賛成討論とする。

少子高齢化に伴う人口減少は国の大きな課題であり、2040年までに、半分の自治体が「消滅可能性都市」になるとの報道があった。危機感を持つことは必要だが、皆があきらめてしまうようなことになっては何にもならない。行政は施策を通して、どう町民を前向きにすることができかが大きな責務だと思う。

特に集落の維持は町づくりの根幹であり、津南町が進めている多面的機能支払の広域化は高く評価する。高齢化が進む周辺部においては、いくら良い事業や制度があっても、集落単位では取り組みが難しくなってきた。提出書類などの事務作業は電子データによるものも多くなり、年を取ると段々と億劫になる。しかし津南町では広域の組織を作り、事務局を役場内に置くことで事務負担の軽減を図り、多くの集落が参加することができている。

将来への投資と言う点では、秋山郷を観光の中心と位置づけ、旧上郷中を大地の芸術祭の拠点として、積極的に取り組んでいくこと。また、町民税が年々減少している中で、予算編成であることを考えれば、幅広く検討された予算だと評価するものである。

介護保険会計

反対討論

藤ノ木浩子

私も日本共産党は、社会保障の充実には応能負担の原則に立って改革し、富裕層、大企業優遇税制を改めることと、国民の所得を増やすため経済の立て直しによる税収増加で財源を確保する、消費税に頼らない別の道を提言している。

政府が進める介護保険は介護切り捨てと負担増の改悪しかない。介護報酬2・27%削減や利用料2割負担への引き上げなど削減メニューがずらりである。事業者にとってもサービス利用者にとっても受ける影響は計り知れない。特に介護報酬削減は職員の処遇改善に逆行するものだ。保険料も大幅な値上げとなっている。区分が6から9段階に細かく改正されたが、所得により負担増を求めるものだ。

特養待機者解消への見直しも見えず、負担だけが增える介護保険制度では、介護は守られない。

い。将来不安は広がるだけである。ぜひ町長には社会保障切り捨て路線を転換するよう国に求めることをお願いしたい。

賛成討論

石田タマエ

平成27年度介護保険特別会計予算16億4820万円に対し賛成するものである。

平成27年度から始まる第6期介護保険事業計画ではサービス形態が大きく変わろうとしているが、まだまだ住民ニーズは、施設入所希望の方が圧倒的に多く制度改正と住民ニーズの隔たりの大きさを実感する。

施設整備を進めると、介護保険料値上げにもつながることは誰でもが承知の通りである。

「住民ニーズに応えるためには、介護保険料の値上げもやむを得ない」という仕組みの中で平成27年度の介護保険料の値上げは苦渋の選択であると推測する。

第6期介護保険事業計画からは、各自自治体の手腕が問われ住民サービスに自治体間格差が大きくなると思われる。どこにでも誇れる津南版介護保険事業を構築するためには、津南病院を核とした地域包括ケアシステムの構築と、何といたっても介護予防の成果を上げることが重要だと考える。

どこよりも優しい津南町、ど

こよりも住み続けられる津南町を目指して、より一層の住民サービスの追及に努めて頂くことをお願いして賛成討論とする。

病院会計

賛成討論

村山道明

病院長、副院長を中心に、「寝たきりや認知症をできるだけゼ口に近い、健康寿命を延ばすこと」を目標とし、生活習慣病講座や糖尿病外来、月1回の精神内科など予防医学への取り組みや、子育て医療に小児科の更なる充実を図りながら、よりよい医療を提供できるかかりつけ医の病院として日々努力を行なっていることが伺える。新年度予算、町からの一般会計補助金増などが顕著に見て取れるが、

町民のニーズに対応した医療を提供するための手段として、X線CT撮影装置、白内障手術装置の更新など、医療機器の充実が適切に予算計上された。

まもなく開院する魚沼基幹病院やそれに続く十日町病院との医療連携や、緊急医療搬送「ドクターヘリ」の利便性が増すことが期待される。

先般示された「経営診断報告書」の提言を十分に精査・検証し、改善すべき所は早急に対処されることを願う。今後とも、「町民の命の安全・安心確保」に期待

する。

賛成討論

根津勝幸

病院内においてマイナス部分だけを切り捨てればいいのか。また、町立病院として町の行政から切り捨てればいいのか。そんなことは決してないと思う。町民1万1千人弱の医療のよりどころ、特に緊急の場合の安心感にはわが町に病院があるからこそである。

過日、私は夜中に診療をうけた。誰もが緊急事態、それを守ってくれているのが津南病院である。

一般会計からの運営費補助こそあるが、これからも病院、町行政、議会がともに守ることが大切と考え、平成27年度病院事業会計に賛成する。



病院経営コンサルタントから提出された診断報告書



ひまわり公園の整備は

村山道明

問 ひまわり保育園に隣接されたひまわり公園は、杉や雑木の成長で、目的を果たしてはいない。今、環境改善が急務だ。杉の木伐採や雑木の剪定を行う必要があるがどうか。

町長 年々樹木も成長し、うっそうと重みのある林となった。降雪で枝折れなど発生し、その都度危険対応として伐採している。今後とも状況を見ながら適切に対応して行きたい。

大地の芸術祭とプレミアム駐車券について

津端眞一

問 旧上郷中学校レジデンス使用作家は決まっているのか。また、ひまわり畑の開催時期が同時期であり、かなりの入り込みが期待される。プレミアム駐車券は町内に大きなメリットがあるが、いつ決定し広報できるのか。

町長 旧上郷中学校レジデンスの名称は、越後妻有一上郷クローブ座」と名付けて頂いた。劇団サンプル、ニブロール、指輪

ホテルを予定している。作家は校庭にパオラピヴィー、ほか1名。校舎内に滝沢達史さん。プレミアム駐車券は関係機関と協議し早めに進めるよう指示した。

森林の整備計画について

草津 進

問 関心のなくなつた林業活性化を図るため、森林の整備を計画的に進め、津南丸ごと公園としての推進計画を考えているか。

町長 森林整備については、所有者の整備意欲が低い中で利用間伐を計画的に進める。受益者負担5%を打ち出したところである。これにより、年間30haの計画的な森林整備を進めたいと願っている。優良森林のたくましい姿は自然資源としても価値あるものと考えており、将来的に津南丸ごと森林公園として売出される環境を整えたいと考えている。



除間伐作業

畑の地力増進支援を

滝沢茂光

問 地力増強は不可欠であるが高齢化により堆肥の投入がなかなかできないのが現状である。小型の散布機もあり、軽トラ積載車もある。地域振興課でも啓発と支援をあわせ検討されたい。

町長 現在のシステムでは小さな圃場へは機械が大きすぎて対応できないため検討したい。

新たな町づくりの元年とは

中山 弘

問 町長の描いている5年後、10年後の明るい津南町は。

町長 域内所得の向上、雇用の確保、若者定住促進などが強い町づくりであり、子育て支援、学校教育充実、医療福祉の充実、高齢者障害者対策の充実など、どこよりもやさしい町づくりを進める。キーワードは「育」であり子ども達は苗場山麓ジオパークを通して故郷を学び、誇りと愛着を持つと考える。地方創生法により仮称「津南町総合戦略策定会議」を創り、若者女性からも参加していただき津南町の将来像の組立てを願う。地方版総合戦略を実行していくことで次世代を担う子ども達が町に住み続けると確信する。

保育料無料化は

桑原 悠

問 保育料無料化は長の政策判断によるところが大きい。取り組みが見送られている。見解を問う。

町長 国が検討してきた5歳児保育料無料化は見送られたが、少子化の今日、保育料無料化は国の喫緊の懸案事項である。町単独では、事業の継続性の観点から財源の確保が難しい。国の動向を注視していく。

保護者に対して、不公平感の少ない現在の基準を理解いただきたい。今後とも負担感があっても、それ以上の充実感をもってもらえるよう、積極的に保育園整備に取り組み。



子育て支援の充実を

参与の必要性と役割は

大平 謙一

問 参与の仕事は何をするのか。地方創生への関わりと権限は。

町長 私の特命事項を担当していただく。具体的にはすべては言えないが、マウンテンパーク津南やグリーンピア津南、またホワイトデータセンターなどに関する事項。権限については意見を述べていただき、私が決定する。地方再生も大事だが、町職員の増員は難しい所である。

障害福祉施設が平成27年度予算に計上されないのはなぜか

石田タマエ

問 障害者の複合施設整備については、12月議会で「当初予算に間に合うか、あるいは途中になるか、懸命に追い求めていきたい」と答弁している。当初予算に計上されていないが、補正予算からの着手も考えられるか。

町長 これまで、事業者と検討してきたが、場所や施設構造においてもう少し考慮が必要で、起債対象にするための計画が不十分であり、当初予算に計上できなかった。

今後検討を重ね、できれば9月議会で実施設計の予算を補正で審議し、建設を平成28年度に計画したい。

新教育委員会制度の役割と責任は

藤ノ木浩子

問 首長の関与等を強める法改正だが、教育委員会制度そのものを残した意味は重要である。その役割、責任の見解を問う。

町長 教育委員会制度改革は教育行政の責任を明確にし、管理体制の構築と実行、首長と教育委員会との連携を強化するとともに、地方に対する国の管理の見直しを図ったものと受け止めている。これまで同様に、教育委員会の独立を尊重しつつ連携を密にし、自立した津南の子どもを育てていきたい。

農業施策について問う

根津 勝幸



問 適地適作の考え方の中での県間調整は大変有難いものであるが、魚沼米の過剰作付けを招くことにならないか。

町長 県間調整は過剰米を招く側面を持っている。しかし、県間調整がなければ過剰作付けになり、国の制度にのれない。魚沼米を抑制し米価安定を図るといふ選択肢もあるが、県間調整

により、転作を達成することが最も有利になると試算している。基盤整備が進んでいる現状を考えるに、その達成は難しいものと推測される。県間調整の制度があるうちは、わが町の稲作経営の安定に最も良いと考える。



町有財産取得(宝山荘)の購入は

恩田 稔

問 津南町の観光施設の多くが厳しい状況にあり、毎年多額の税金が修繕費等に補助されている中、宝山荘購入に1000万円が計上されている。どのような活用を考えているのか。

町長 地域に根差した固有の資源を守り、地域の活性化につなげたい。

問 他の施設と同様に補助が必要になるのではないか。

町長 まだ白紙の状態ではあるが、幾つかの話は来ている。町が主体で経営することは全く考えていない。

除雪券支給と栄村方式について

栗原 洋子

問 要援護世帯160世帯への除雪券支給は住民からありがたいという声がある。しかし約半数の80世帯が屋根雪のほか、家周りの除排雪を重機に頼らざるを得ない状況だ。除雪券支給と栄村方式をどう考えるか。

町長 栄村では、毎年非常勤公務員として雪害対策救助員15人程度雇用し、除排雪する。当町も検討した経過がある。国の高齢者雪対策の新しい動きを見定める中、再検討するに値するシステムであり、検討するよう指示をした。



高齢者にとって大変な雪おろし



町政を聞く!!

一般質問 (11 議員)

- | | |
|---|--|
| <p>1 草津 進 議員 (10 ページ)</p> <p>1、「地方創生」津南町としての戦略策定は</p> <p>2、保育園の統合計画の具体的手順は</p> | <p>6 桑原 洋子 議員 (13 ページ)</p> <p>1、TPP 撤退と農政改革、政府に要望書を</p> <p>2、期日前投票の啓発と足の確保を</p> |
| <p>2 大平 謙一 議員 (11 ページ)</p> <p>1、地方を元気にさせるための方策は</p> | <p>7 藤ノ木 浩子 議員 (13 ページ)</p> <p>1、地方創生と道州制をどう考える</p> <p>2、小規模企業振興基本条例の制定を</p> |
| <p>3 恩田 稔 議員 (11 ページ)</p> <p>1、信濃川の堤防改修は</p> <p>2、アメダスの移設はできないか</p> | <p>8 石田 タマエ 議員 (14 ページ)</p> <p>1、透析治療者の通院手段確保を</p> |
| <p>4 風巻 光明 議員 (12 ページ)</p> <p>1、町の地方創生予算の取組と評価は</p> | <p>9 村山 道明 議員 (14 ページ)</p> <p>1、診療体系の再編が必要では</p> <p>2、農協改革・競争力強化に町は</p> |
| <p>5 中山 弘 議員 (12 ページ)</p> <p>1、地域の安全と防災対策は</p> <p>2、市町村の連携や観光のあり方は</p> | <p>10 吉野 徹 議員 (15 ページ)</p> <p>1、記名共有地の行政指導を図るべき</p> |
| | <p>11 滝沢 茂光 議員 (15 ページ)</p> <p>1、足滝スノーシェッド危険箇所解消を</p> <p>2、宝山荘購入の真意は</p> |

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

「地方創生」津南町としての戦略策定は



草津 進 議員

問 苗場山麓ジオパークで地域の活性化は

町長 苗場山麓ジオパークは津南町、栄村で57か所のジオサイトを有している。紹介と発信方法はパンフレット、ハンドブックの配布、また、観光拠点への総合案内看板や展示コーナーの整備を図っていく。苗場山麓ジオサイトに展望台などを順次設けていく。好評なガイド育成講座を続け、ジオサイトをPRする。

問 人口減少克服に向けた雇用対策を

町長 「地方創生」が具体化する元年、津南町としての総合戦略と人口減少克服、活性化策は。



ジオサイト見倉橋

問 保育園の統合計画の具体的手順は

町長 地方人口ビジョンを作成し、町の現状と将来の展望を踏まえ、国や県の総合戦略を勘案した上で、町の実情に応じた安定した雇用を創出していく。若い世代に希望のもてる時代に合った地域をつくり、安心の暮らしを守る地方版の総合戦略を作成する。

問 同年齢の保育が著しく困難な状況の中、統合計画にそって着実に進んでいるか。

教育長 答申に沿って保育園整備を進めていきたい。上郷保育園、中津保育園で説明会を開いた。概ね理解が得られたと思う。上郷地区においては、小学校統合も併せて検討していく必要がある。

地方を元気にさせるための方策は



大平 謙一 議員

地方創生の町の 具体策は

問 町の農業は厳しい現状であり特に米作りは厳しい。大規模化にも限度があり6次産業化や兼業によって乗り切れないと考える。また、どの程度の規模で食べていけるのか。町長の考えを伺う。

町長 米価下落により厳しい状況は認識している。今後も大きな変動はないと考える。稲作については農業者の高齢化、後継者不足など問題があるが農地集約、集落営農などによるコストダウンと、後継者の育成が急務である。

地域振興課長

規模によって違いがあるが機械のコストが1/3を占めると言われている。古いデータだが7ha程度が採算に見合うと

言われている。

問 兼業するためには働く場が必要だ。我が町に合った産業を誘致する専門チームを作れないか。

町長 専門チームは考えてないが、私を先頭に各方面にアンテナを巡らせ情報を集めている。具体化すれば職員配置を適切に考える。

問 子育て環境作りチームをつくる気はないか。

町長 チーム作りは考えてないが、「育」を施策の中心に子育て支援を行っている。

問 若者が津南に住む、また郷土を愛し津南の将来を担うような教育をすべきと思うが。

教育長 郷土を愛する教育は前から行っている。津南、栄村ではジオパーク関連で郷土を愛する子どもを育てるよう教育して行きたい。



厳しい稲作経営だが

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

信濃川の堤防改修は



恩田 稔 議員

巻下地内の安心、安全 はいっ来る

問 昭和57年の洪水被害から30数年、被害にあった皆さんは今でも、大雨になったり、川の音の変化に不安を抱いている。当事者ではない多くの人、そして町当局も段々と記憶が薄らいでいるのではないか。あれだけの被害があったにもかかわらず、全く改修されていないのは何故なのか。町は県、国にどのように交渉しているのか。

町長 国直轄編入を長年要望してきたが、近年地方分権が叫ばれることも相まって実現に至っていない。このように取り巻く環境も変化している中で、津南町としては、国直轄編入にとらわれず、国、県どちらの管理であってもより早く改修

ができるように要望している。また現在、県はどちらが主体で事業を行うのがより効率的か検討を重ねており、そう遠くないうちに一定の結論が出ると考えられるので期待をしているところである。



S57年 台風18号による洪水 (下平地区)

アメダスの移設はできないか

問 2年前の議会、町長は日本一の豪雪地と報道されても、捉え方によってはマインスではないとの考え方であったが、その後も変わっていないのか。

町長 現在も全く考えは変わっていない。

問 町長の言っているプラスの面も、もちろんあるが、連日流れる豪雪報道はそれ以上のマイナスであると私は考えている。プラスにすると言うなら、気象庁に津南の四季を朝のニュースで放映してもらおうぐらいの交渉をしてもいいのではないか。

町長 前向きな提案として承る。また、豪雪報道については、少し作作的に感じるものもあり、しっかりと対応して参りたい。

町の地方創生予算の取組と評価は



風 巻 光 明 議員

国の補正予算4200億円に
対し津南町の要求は

問 国の補正予算では、地方に人の流れを呼び戻し、人口減少の克服や地域経済の活性化に重点的に配分する方針だ。津南町も緊急に取りまとめたと思うがその内容は。

町長 「消費喚起・生活支援型」でプレミアム商品券、多子世帯支援事業、ひまわり広場プレミアム駐車券など2600万円、「地方創生先行型」では総合戦略作成費用、ジオパーク関連機能強化、地域人材育成などで3200万円ほど内閣府に申請した。

問 27年度予算案では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で1兆円を超える額が計上されたが、町長はどう評価しているか。

町長 プレミアム商品券など地方の消費喚起を一時的に向上させることに期待感をもっている。また今までは上からの押しつけメニューでの選択だけであったが、今度は地方のアイデアが主力であり評価している。

津南町に関連した政策パッケージに対し考えは

問 結婚ができ、安心して子育てができるために、政府は非正規雇用の正社員化を大幅に増加させる計画だ。津南町の行政職は約半数が臨時職員である。この正職員化はどう進めるのか。

町長 今年初めて正職員化の実績を作った。門戸を広げたのでチャレンジして欲しい。

問 政府は住みよい町づくりに「コンパクトシティー」など3700億円を投ずる。津南町も限界集落がありトライすべきと考えるが。

町長 住んでいる人の意をどうやって集約していくのか考えていかなければいけない。



旧上郷中を改修し「クローブ座」で地域の活性化を

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

地域の安全と防災対策は



中 山 弘 議員

河川の災害通知を
素早く

問 平成26年12月に中津川第一発電所の導水路点検抗から溢水があり、国道405号線に土砂が流れ落ちた。長時間にわたって大変危険な状態にあったが、今後企業勧告や素早い災害通知をどのように行うのか。

町長 広報無線や防災メールで通行止の通知を行った。緊急避難所では旅館2箇所を指定した。東京電力は災害防止対策として、降雪期には2箇所のスクリーンを通して取水し導水路出口に水位計センサーを設置する。異常を検知したら被害の回避や防止のために取水量を調節し、社員の訓練等も行うということであり、町としては概ね納得しているが、引き続き施設の管理

を細心の注意をもって行うよう要請した。
問 西大滝からの導水路は川西地域を通っているが、県境地震時の導水路管被害は。
町長 現地検証し被害補修箇所を確認したが他にクラックは見当たらなかった。

市町村の連携や観光のあり方は

問 日本ジオパークに「苗場山麓ジオパーク」が認定された。「河岸段丘花火」や「結東の石垣田」等の人間と自然の関わりが評価されたと思う。認定後の活動が大切と言われているが、今後の市町村間の連携や観光のあり方を伺う。

町長 前者議員に答弁したので省かせていただく。次世代を担う小学生の苗場山麓ジオパーク認証に伴い、子ども達の思いの発表会を観て感動した。明日の津南を考え、故郷を誇れる地域づくりが根源である。



導水路のさらなる安全対策を

TPP 撤退と農政改革、政府に要望書を



栗原 洋子 議員

国会決議が守られない状況だ

問 安倍首相は、交渉参加を表明した際に「日本の食と農を守ることを約束する」と国民に約束した。国会では、「重要5品目を守ること、食の安全安心と、食料の安定生産をそこなわないこと、国民への十分な情報提供を行うこと」などが決議された。農政改革は、農業大国との競争に、対応しようとするもので日本の国土と地域を守ってきた、家族農業を崩壊させるもの。農協改革などは、日本農業や地域経済に壊滅的打撃をあたえるTPP交渉と一体である。農協を中心として助け合い、お互いに研鑽し、地域や国土を守る農業を、競争ともうけの追

求だけの企業農業へと変えようとするもの。

TPP交渉からの撤退と、現場の声を無視した農協改革について、政府に要望書を出す考えはないか。

町長 関税引き下げの一部報道はあるが、聖域5品目の関税撤退はないものと考えられる。しかし国内農業に影響するTPP交渉の安易な妥結がないよう国に対し、強く要望したい。要望書が最良の方法なら出すことを拒まない。

期日前投票の啓発と足の確保を

問 投票日当日、投票所への無料送迎バスを一部運行しているが、投票所まで3km、4kmと離れた所が何集落もある。デマンドバスの増便など、高齢者の足の確保を。期日前投票所を津南病院内に設けられないか。

町長 3km以上で高齢化率50%以上の集落から希望があれば送迎バスを運行する。病院内はスペースや人材確保など課題が多く難しい。



リバーサイド千秋 期日前投票所

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

地方創生と道州制をどう考える



藤ノ木 浩子 議員

地方創生のねらい

問 安倍政権は、地方創生を重点施策に打ち出した。政権公約では「道州制導入までの間は地方創生の視点に立ち、国、都道府県、市町村の役割を整理し」となっている。地方創生のねらいは、道州制にあるのではないか。また、地方版総合戦略をどう考えるか。

町長 政府は「まちひとしごと創生法」を可決した。このことは国として危機的課題である人口減少対策と地方創生に腰を据えて取り組む礎が整ったのではないかと認識している。それぞれの自治体が地域の実情にあった人口減少対策や地域を元気にする対策を実施、検証するものである。地方

創生と道州制が密接に結びつく認識はない。

総合戦略は国、県の戦略を鑑み、地方における雇用創出、地方への人の流れをつくる、時代にあった地域をつくり暮らしを守るなど具体的施策として策定したい。地方創生が掲げる集約化が自治体再編となることは認識していない。

小規模企業振興基本条例の制定を

問 小規模企業振興基本法は小企業者を施策の中心に位置づけている。事業者の声を聞きながら、願いに沿った支援策を広げられるよう条例制定を。

町長 中小企業は地域に根ざした経済、雇用を支える担い手として大きな役割を果たしている。当町の支援策を進める。国県による財政措置や他市町村の動向を見て対応したい。



新しいアイデアで地方の活性化を（農家レストランバイキング）

透析治療者の通院手段確保を



石田 夕馬 議員

命に直結する透析治療に公助が必要

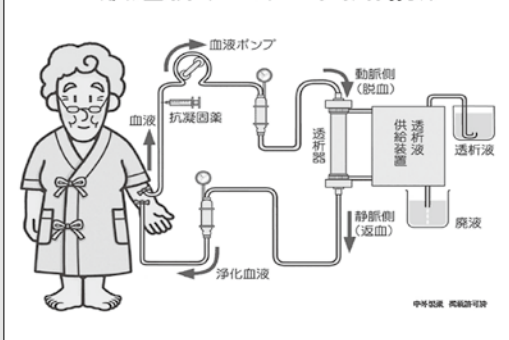
問 この質問は今回で3回目だが、その都度「ボランティア組織で支援できないか」と言った答弁に終始してきた。町長は、共助の地域社会の実現を目指しているが、共助だけでは支えきれない現実もある。特に、資金や道路交通法などの法制度に阻まれ、共助の限界がある。月々5000円の補助金は大変助かっているが、各々の状況は異なっている。中には、毎月12万円ものタクシー代を払っても通わざるを得ない方もおられる。町長はこの現実をどのように受け止めているか。私は、この件について担当課とも数多く協議をして来たが、「他の市町村での実施事例がない」とはか

どらなかつたが、長岡市が相応の負担をして実施しているという事例を知り、決して行政ができないことではないと確信した。個々の事情に耳を傾ける町行政であってほしいと願うものであり、通院手段を確保し、「本当に困った時はそれが利用できる」と安心して治療が続けられて、誰でもが住み続けられる町づくりをめざしたいが、町長の見解は。

町長 現在通院者は16人いる。どういう方法があるか共助と共にもう少し具体的に考えて行く。いくつかの課題はあるが、不可能ではない。条件が整えば実施の方向で考えられる。

副町長 本人がどのくらい負担できるか、運営をどこがするか等の課題をクリアしなければならぬが、ハードルがそれほど多くないのでできるだけ早い実施に向け取り組んでいる。当初予算になるので4月1日からは難しいが補正で対応したい。

血液透析(HD)の回路構成



Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

診療体系の再編が必要では



村山 道明 議員

経営改善が必要な状況だが

問 外来、入院患者の診療充実のため、人員配置や診療体系の再編成等々が必要である。今後とも利用しやすい病院に努力をすることは当然と考えるがどうか。

町長 経営診断を実施した。結果報告会を3月中旬に予定しているが、この診断結果を病院職員と共有し実情を様々な角度から分析し、検討する。

農協改革・競争力強化に町は

問 町政は、農業と農協の充実発展を抜きにして語ることが出来ない。農家のためにも農協と協調し支援策を図ることが重要であると考えられるがどうか。

町長 改革は、組合員に大きな影響を及ぼすものである。改革が農業所得にどうつながるか今後慎重に対応しなければならぬ。

未受診者への対応を

問 4か月児から3歳児健康診査での未受診者が毎年いるが、訪問等指導体制の充実が必要だがどうか。

町長 担当地区保健師が家庭訪問し、発達チェック育児相談を行なっている。

学校・保育園の地産地消は

問 食育に関して学校と保育園給食の地産地消について、地元農産物の使用割合を高める方策が必要だがどうか。

教育長 使用割合を高めることは難しい。生産者の高齢化、食材の集荷場所、人材確保等が深刻で町の支援など検討し進めていく必要がある。



食育の啓発をする看板

記名共有地の行政指導を図るべき



吉野 徹 議員

限界集落の 記名共有地の取扱いは

問 全国でも記名共有地が多数あり、町においても、取扱いに大変苦慮している。明治期からの土地所有権確立で今日まで続いており、3、4世代も前の権利者は数百人にもなり、厳しい現状である。

町長 過疎化が進み集落維持が困難であるなか課税問題さえも生じている。準限界、限界集落が70%と言われる我が町の行政指導はどうなっているのか。

町長 記名共有地は集落構成員だけが利用できる土地で入会地に該当され、相続人が不明で用地の貸借、転売などが困難なことは理解しており、全国で取り扱いに苦慮している課題と思え

る。

しかし、昨年5月地方自治法改正で認可地縁団体が受け皿になられるようになった。

町内において15団体が存在しており、本年4月1日施行で手続の詳細が示されたら、その段階で周知し、関係団体に指導をする。

総務課長 記名共有地の相続人が不明の場合、地縁団体を設立し、新しい団体が所有出来るようになる。申請後3ヶ月余りの公示期間が必要条件だ。



記名共有林

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

足滝スノーシェッド危険箇所解消を



滝沢 茂光 議員

主要地方道(寺石)の 改善を

問 主要地方道小千谷・十日町・津南線の足滝スノーシェッド寺石側取り付け箇所は極端に幅員が狭く危険である。地元寺石の方も羽倉廻りで国道へ抜けるとのこと、早期解消を求める。

町長 同地点については用地の関係で進展がなかった。所有者の代がわりもあり期待している。危険地点の解消に努力、推進したい。

津南・栄村の歴史や 文化の大型展示場を

問 苗場山麓ジオパーク認定は大きな力。

苗場山の爆破発がもたらした日本一の河岸段丘、日本一の大河信濃川と中津川の壮大な合流地点の景観美、更には津南・栄村の秋

山郷の生活や文化、河川とのかかわりなどを紹介できる大型展示館として空き校舎の活用が最もふさわしいと考えるがいかがか。

教育長 船山の歴史民族資料館は旧石器など資料は全体の約5%程度しか展示できていない。

いただいた提言を検討し進めたい。展示場が固まればかなりのものを見せることが可能である。

宝山荘購入の真意は

問 町内の温泉施設の多くが経営に苦しむなかでの購入には疑問を感じる。町内同業者と与える影響はどのように考えているのか。

町長 大切な地下資源であり地域からの要望や地域の活性化に役立てたいと購入を決断した。具体的な活用方法は公募等により決めたい。



町有財産となる宝山荘

総文福祉常任委員会

委員長 草津 進

【個人情報保護法を学ぶ】

とき 1月20日(火)

ところ 役場会議室

内容 近年「個人情報であれ
ば何でも保護しなければなら
ない」と過剰に反応し、誤解や戸
惑いが多く聞かれることから、
個人情報保護法についての理解
を深めることを目的に、津南町
役場の担当者より説明を受けま
した。

個人情報保護法とは、特定の
個人を識別することができる情
報を利用する場合や、第3者へ
の提供を規制する法律です。

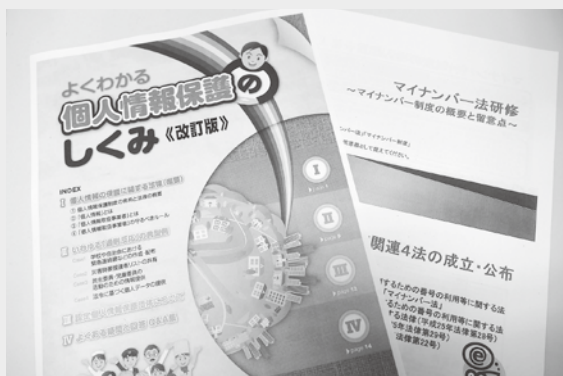
一方で、予め本人の了解を得
れば提供することができること
されています。また、人の命や財
産の保護のために必要な場合
で本人の同意を得ることが困難な
場合は、本人の同意がなくても
提供することができ、関係者間
で情報を共有することができ
るものです。

勉強会を終えて

本人の了解が得られれば、民
生委員さんや福祉団体へ情報提

供することで、本人にとって有
効な情報が得られるメリットが
多くありますので活用してい
ていただきたいと思えます。

(担当 石田タマエ)



大切に扱わなければならない個人情報

【町内保育園を視察して】

とき 2月19日(木)

ところ 町内6保育園

内容 町内保育の現状を把握
するため6保育園の視察・懇談
を行いました。

視察を終えて

その昔から、保育園に子ども
を預けるのは「2歳半の春とい
い、2歳半の春になったら」お
むつを取って保育園に入れる
(預かってもらう)というのが
普通でした。しかし、世の中が
変わり、子どもが3歳になるの
を待たず、お母さんも勤めに出
なければならぬ現状となった
のでしょうか。家におじいさん
おばあさんがいるのだけれども
だ若く、勤められている。仕方
なくわが子を未満児で保育園に
預ける。親も子ども泣く場面であ
ろうと思えます。

保育園において、実証として
3歳まで母親の元、家庭で育つ
た子は心が強く育っているとい
われましたが、未満児の入所希
望が多くなっている現状があり
ます。

(担当 根津勝幸)



未満児保育室を視察する議員

保育園からの メッセージ

0歳児からの入園も多
くなって、働きながらの子育
ては大変なことと思いま
す。子ども達にとって楽し
い園生活も大切ですが、親
が「子育て」を楽しいと感
じることも大切です。親
の愛情をたっぷり受けた子
どもたちは、自信を持ち生
き生きと活躍していけるの
です。親子が笑顔で1日を
おくれるように私達は手助
けしていきたいと思いま
す。

委員会レポート

産業建設常任委員会

委員長 大平 謙一

【津南町農協・農業委員会懇談会】

とき 1月26日(月)
場所 役場大会議室

内容

1、新年度の方針

J Aからは、新たな農業、農政改革が進められる中、農業者ニーズへの対応、担い手の育成等に取り組み、また生産コストの低減、農畜産物のブランド力強化を推進していく、農業委員会からは津南町認証米制度の継続、雪下ニンジンなど雪活用の畑作物の普及、安全で質の高い物を提供できるように要望していくという方針が示されました。

2、課題

懇談の中での課題

①米については、県内産地間競争が激しく大変厳しい販売状況であり、TPPに関しては今後の稲作環境は予断を許さない状況であるとのことです。

②酪農では、生産コストを割り込んだ販売価格で経営力の限界にきている所もあり、継続した支援が求められる現状と

懇談を終えて

のことです。

産地間競争が激しい中、ブランド米、畑作栽培への取り組み、生産コストの低減策など地域農業を守るといふ姿勢を強く感じました。

農政・農協改革が進められるなか、TPP交渉の行方にも注視することが大事になっていくと痛感しました。

(担当 栗原洋子)



2mの雪のけて雪下ニンジン出荷

【道路除雪調査】

とき 2月5日(木)
場所 町内

内容

国県道及び町道の除雪状況調査を実施しました。

調査を終えて

12月の大雪により津南町中どこも、雪の壁が高くなっておりますでしたが、道路除雪の状況は、除雪隊の皆さんのお陰で大変良好でありました。しかし、一部にはまだ狭い所もありましたので、順次道路改良を進めるよう行政に要望して参ります。また、大場、所平地区に於いては春先の雪崩の危険があり、十分安全を確保しての作業や通行をお願いしたいと思えます。

また、国道の壁が高く、交差点や路地から国道に出る時に、大変見通しが悪く危険です。排雪をさらに拡大するよう要望して参ります。

(担当 恩田 稔)

表彰

全国町村議会議長会表彰

本年当町議会より3氏が長年にわたる自治功労者として表彰をうけました。

○河田 強一氏

町村議会議員15年以上在職

○大平 謙一氏

町村議会議員15年以上在職

○藤ノ木浩子氏

町村議会議員15年以上在職

特別功労賞

○河田 強一氏

県町村議会議長会監事





町民登場 この人に会いました…

やまぎし ゆきこ
山岸 佑季子さん (段野団地)



今回は表紙のクアハウス津南で行われている
水中運動(寝たきりO運動)のインストラクターにお会いしました。

Q. 始めたきっかけは？

6年前に友人からこの運動のアシスタントを
やってみないと云われたのがきっかけです。イン
ストラクターは免許が必要ですが、十日町の
水中運動の認定機関である「エリアドゥー」で
20回勉強して最終テストに合格しました。今
インストラクターは4人でアシスタントは15
人位います。

Q. 運動に参加している人は何人位ですか？

180人くらいです。1日3回交代で9班編成
となっています。だいたい60代からですが、
90歳の方も参加しています。無料の送迎バス
もあって、ほぼ毎日行っています。

Q. 気をつけなければいけないことは？

年配方のお相手なので、失礼のないように言
葉使いに気を付けています。また健康チェック
と言葉かけで体調の様子をよくみることです。

特に冬は寒いのでヒートショックがないように
血圧の状態をよく診ます。

Q. インストラクターを行っていて 良かったなと思うことは？

「ありがとう、とても良かったよ」と声を
かけてもらった時です。運動の最後に全員の方
と握手をして終わります。

Q. PRしたいことは？

男性にもっと多く入ってもらいたいです。
今10人位です。プールの中の運動は足や腰
の痛みにも良く効き、風邪もひきにくくなり
ます。またプールとお風呂に入ることは、若
返りホルモンの分泌が良くなると云われてい
ます。

4人の子どものママさんだそうです。人生の目標は
「いつまでも若さを保ち健康でいる」ことだそう
です。元気はつらつのインストラクターさんでした。



名物料理を試食する審査員(津南町副町長・栄村村長他)

今年冬の暖冬大雪?12月の積雪が無かつ
たら...など云われていますが、雪が重く、雪
崩や家屋の倒壊が目立った年でした。被害にあ
われた方には心よりお見舞い申し上げます。
さて3月議会は予算議会であり厳しい財政
事情のなか、全ての議案が無事可決いたしま
した。一般質問では「地方創生」に関する質
問と提案が多く、議会においても町の活性化
を最大の課題として活動してまいります。
3月には津南町・栄村・秋山郷「食の祭典
名物料理コンテスト」の最終審査が行われ町
内外の44点の応募の中から5人が優秀賞に選
ばれました。いずれも地元食材と特徴を生
かした美味しい料理でした。津南町のオリジ
ナル料理として普及すれば良いと思います。

編集後記